

高野 貞宜 議長 埼玉県表彰「地方自治功労」を受彰

11月14日（月）に、高野貞宜議長が埼玉県表彰「地方自治功労」を受彰されました。この表彰は、長年、地方自治の発展に貢献し、功績顕著な方に送られるものです。平成25年に議員に当選し、村議会副議長、議会運営委員会委員長、文教厚生常任委員会委員長をはじめとした多くの役職を歴任。現在は村議会議長として議会を代表する重責を担われています。東秩父村の福祉向上、細川紙文化の発信、発展に大きく貢献してきたその功績などが評価され、この度の受彰となりました。



奥沢神社(奥沢)で文化財防火訓練



1月22日（日）、奥沢神社（奥沢）において、文化財防火訓練を実施しました。

訓練には、奥沢地区の方々や神社関係者をはじめ、小川消防署東秩父分署、東秩父消防団約70名が参加しました。

火災発生の知らせを聞いた参加者は、貴重な文化財を守るために、通報訓練、水消火器による初期消火訓練、文化財持ち出し訓練を実施しました。その後、消防団車両の放水による火災防御訓練を行い、無事延焼

阻止となりました。

また、村教育委員会の事務局職員から奥沢地区や奥沢神社の歴史について説明があり、さらに小川消防署東秩父分署の職員から消火器の取り扱いおよび住宅用火災警報器の説明等がありました。

参加者は地域の文化財の重要性を再認識し、防火意識を高めることができました。



クラウドファンディング 目標達成!

村では、「細川紙」の後継者を支援するクラウドファンディングを行いました。

この寄附募集は、細川紙の職人を目指す2人の後継者に「技術習得に専念してほしい」との思いで30代を中心とした村職員による「ネクストジェネレーション会議」が発案しました。100万円を目標にふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」にて、11月18日から2月15日までの3ヶ月間募集を実施し、目標額を上回る114万1千円の寄附が集まりました。

皆さまのご協力に感謝いたします。



人権・同和問題啓発指導者 養成講座を開催しました

2月9日（木）、役場において人権・同和問題啓発指導者養成講座を開催しました。

部落解放愛する会埼玉県連合会書記長の久保栄利様に「同和問題について」と題して講演いただきました。

同和問題の起源や部落差別の現状について、自身が体験した差別事象を交えて具体的にお話いただきました。「相手の立場を思いやり、同じ目線での会話や対応を実践することが重要である。同和問題をはじめ、さまざまな人権問題について、正しい知識を身につけることが差別の解消につながる。」と話され、人権意識の向上が図れた講座となりました。

